

時事新報

驛遞局認可

東京明治十六年四月廿八日 星期三 第三千四百七十七號 日曜日休刊 定價三錢

時事新報

應義塾紀事ノ書ハ一私塾中ノ事ナレド書中ニ記ス所
往々社會ノ人事ニ連絡シテ之ヲ一見スレバ二十年來我
國文化發達ノ沿革ヲモ攝知ス可キモノナキニ非ヤレハ
揭クテ以テ本日ノ社説ニ代フ

慶應義塾紀事

慶應義塾之事
本塾ハ安政五年ノ冬江戶鐵砲洲島與平清邸内ニ設立シテ
ルヲ始トシ明治十六年ヨリ至ルマデ二十五年ナリ安政五
年ヨリ文久二年ノ終ニ至ルマデ四年餘ノ間ハ生徒ノ就
學スル者新陳出入シテ常ニ數十名ニ過キス僅ニ一小家塾
ニシテ事ノ記ス可キモノモナク且塾ノ記録ハ評ナラサ
レハ一切ノ紀事ハ文久三年正月ヨリ起テ明治十五年十二
月ニ終ルモノトス

創立ノ初ハ荷爾爾ノミナシテシテ安政六年五箇條約
ノ事成リ外國人ノ渡來モ漸ク多クナルニ付テハ圖書ヲ以
テ時事ニ當ルコト足ラサルヲ悟リ專ラ英文ノ讀法ヲ研究シ
漸ク之ヲ生徒ノ教授ニ用キタルハ文久二年ノ事ナリ是
レヨリ生徒ノ數モ次第ニ増加シテ慶應三年ノ頃ハ八十
名ヨリ百名ノ數アリ唯コノ時ニ當テ本塾ノ困難ノ攘夷ノ
國論ニ當リテハ荷爾爾ノ洋學者トアレハ一身ノ生命ヲモ安
ンスルヲ得ザリシノ一事ナリ此ノ事ハ維新ノ後ニモ暫時
流行シタルハ文久二年ノ事ナリ如クナラズニ翌慶應
四年即チ明治元年戊辰長政維新ノ事アリ二百五十餘年來
ノ大變ニシテ在江戶ノ官立校ハ無論大都會中ニ一私塾ノ
痕跡モナク恰モ此塾授ノ際ニ鐵砲洲ノ與平邸ハ外國人ノ
居留地タル可キ約束ヲ以テ本塾モ邸内ニ留マルヲ得ズ之
ガ爲ニ前年冬冬新築地ニ買入レタル地面アルヲ以テ此
塾舎ヲ新築シテ其功ヲ竣ケタルハ戊辰四月ノ事ニシテ其
前ハ塾ノ名稱サヘンシテ今ヨリ何カ名ヲ附ケントテ
人ニモ物ニモ差支ナキ其時ノ年號ニ取リテ慶應義塾 名
ケテリ蓋シ明治元年ノ慶應 文字ハ不都合ナルニ付
改元ノ布告ハ同年九月ノコトニシテ本塾ノ功ハ四月
ルヲ以テ未ダ明治ノ名ヲ知ラザリシ時ナリ今ノ
芝區新築地ノ政玉塾ハ舊慶應義塾ノ處ナリ塾舎既ニ成
リタルハ東西南北戰爭ノ最中ニシテ殊ニ東京ハ官軍兩軍
ノ入り乱レタル場所ナレバ讀書ニハ最モ適當ニ目録中
ノ生徒ナル者ハ大抵皆讀書ノ士ニシテ其父兄ハ無論本
人モ國事ニ關ル者多クシテ塾ヲ塾ヲ退キ百名ニ近キ生
徒ガ三十名ニ減シ其減少ノ極度ハ兩三日ノ間僅ニ十八名
ノミナリ存シタルコトアリ都下一般ノ人事ハ火ノ熄ヘタルガ
如クニシテ市面ニ買賣スル者ナク酒樓ニ飲ム者ナク物價尙
々唯續レモナク四方ヨリ奔走スルモノナクナリシカ幸ニ
テ本塾ノミハ一日モ休業スルコトナク彼ノ上野彰義隊ノ
變ハ五月十五日ノ事ナリシガ其日ハ塾ニテ新築地ニ英書
「ウーランド」氏經濟論ノ開講日ニ當リ講義中生徒等ハ
折々積根ニ登リテ上野ノ兵燹ヲ遠見シタルコトアリ今ニ
テ考フレハ彈丸烟霧ノ讀書甚々難キカ如クナレバ其然ラ
ズシテ安全ナリシハ畢竟當時ノ戰爭ハ軍兵正シクシテ且
軍人一般ノ氣風モ市民ノ私ヲ犯スルコトナカシノ事ナリ
テ見ル可シ當ニ一私塾ノ幸ノミナラス我日本國又文明ノ美
事ナリ又再考スレハ學問ノ事ト政治ノ事トハ全ク線ナキ
モノニシテ政事ノ騷擾中モ尙且安シク學事ヲ修ム可シ
況シテ太平無事ノ日ニ政治ト學問ト分離スルコト甚ダ易シ
トノ實ヲ證明スルコト足ル可シ

ルニ從テ塾務モ次第ニ繁多ト爲リ差向キ新築地ノ地所性
物ニテハ人ヲ容ルルニ足ラザルノ不自由ヲ覺ヘタリ
明治三年ノ冬三田二丁目嶋原侯ノ藩邸上地ト爲リテ直ニ
其地所并ニ附屬ノ町地共合シテ凡ソ一万余坪餘拜借ノ
特命ヲ蒙リ在來ノ建物凡ソ八百坪ハ編原侯ヨリ時價ノ低
キモノヲ以テ讓受ケ尙大ニ新築シテ新舊ノ普請大費成テ
告テ乃チ新築地ヲ去テ愛ニ轉ジタルハ明治四年春ノ事ニ
シテ即チ今ノ東京芝區三田二丁目二番地慶應義塾是レナ
リ轉居 後モ入學ノ生徒ハ日ヨリ多クシテ學務ト俗務ト同
時ニ之ヲ理スルコト甚ダ易カラズ就中諸藩ノ壯年士族ガ戰
場ヨリ歸テ直ニ學ニ就キ其心事舉動ノ淡泊ニシテ活潑ナ
ルハ眞ニ愛スベシト雖モ舊時ノ殺氣尙未ダ去ラズ動モ
レハ粗暴輕躁ニ走リテ學塾ノ敷場或ハ小戰場タル可キ
恐レ少ナカク學者ノ沈黙ヲ以テ暗ニ之ヲ化ス可キヲ理
論ノ深遠ヲ以テ直ニ之ヲ論ス可キモノニ非ザレバ幹事モ
教員モ共ニ與ニ活潑ニシテ推簡簡便ノ一主義ヲ以テ生
徒ニ交リ漸ク之ニ理ヲ説キ道ヲ示シテ遂ニ以テ學者ノ本
色ニ誘導シタルコトナリ本塾ノ理事常ニ難シト雖モ最モ困
ミタルハ維新以後三四年ノ間ニ在リトス

本塾ノ慣行ニテ塾中ノ生徒ヲ大中年童子ノ三種ニ分テ
十三四歳ヨリ十五六歳ヲ童子トシ十六七歳ヨリ十八九歳中
年トシ二十歳以上ハ則チ大人トシテ各其名稱ニ從テ區別
シ三種相混シテ起ルルハ甚ダ難シク蓋シ年齢不同ノ者ガ雜
居スレバ大人ハ童子ノ戲言ヲ聽ク爲ニ幼クシテ童子等ハ
自カラ年長ノ風ヲ學テ言語舉動成テ弊ヲ免ラズ甚シ
キハ喫烟飲酒ノ惡習ヲ容易ニ視ルノ恐キコト非ズ故
童子局ニモ中年局ニモ常ニ監督ヲ置テ朝夕局中ノ動靜ヲ
觀察ス其人ハ則チ教員中ヨリ撰ビテ法ナリ

右ノ如ク本塾中ニ童子局ノ設アレハ局ニ在ル者ハ固ヨリ
起居眠食ノ事ヲ自カラ辨セザル可ラズ或ハ筆紙墨其他些
少ノ買物等モ獨リテ自身ニ購求スルコトナレバ些少ナガ
ラ出納ノ考ナキヲ得ズ然ルニ十二歳以下十歳前後其最
モ稚キハ六七歳ノ小兒ニテモ父母ノ志厚ケレバ就學セシ
メント欲スル者アレハ之ヲ本塾ニ入レテ其保護ノ責ニ任
スルハ塾ニ於テ最モ難シク所ナリ是ニ於テ邸内ノ幼稚
舎ナルモノヲ設立シテ此舎ニ本塾ニ接スレバ處テ異
ニシ合ノ建物モ其教授モ其經濟モ自カラ獨立ノ姿ナ成シ
テ幼童中ノ最モ幼ナルモノニシテ撰テ之ニ入レ唯學問ノ
教授ノミナラス衣服飲食ノ注意ヨリ嗽手洗行水風呂ノ世
話ニ至ルマデ大體皆婦人又ハ老ハノ受持ヲ爲シテ居家ノ
子供ヲ養育スルニ同一様ニ取成シ衆稚子ヲシテ家ヲ離ル
ル奇異ノ思ヲ爲サザルコト專ニセリ明治七年一月
設立以來同十五年十二月ニ至ルマデ入舎タル幼童ノ
數凡ソ三百名其間長シテ本塾ニ移リタル者モ少ナカラズ
長家ノ父母多事ナルガ爲ニ家庭教育ノ暇ナキ者歟又府
下住居ニシテ父母共ニ遠方ノ地ニ寄留スル者ノ如キハ其
子ヲ托シテ體育智育ノ教ヲ受ケシメ其便益最モ多クト云
フ(現今幼童ノ數百十七名)

二十年来
一、設立
二、收九
三、小塾
四、研究
五、...

物ニテハ八人容ルルコト足ラザルノ不自由ヲ覺ヘリ
明治三年ノ冬三田二丁目日橋原侯ノ藩邸上地ト爲リテ直ニ
其地所并ニ附屬ノ町地共合シテ凡ソ一萬三千坪餘拜借ノ
特命ヲ蒙リ在來ノ建物凡ソ八百坪ハ編原侯ヨリ時價ノ低
キモノヲ以テ讓受ケ尙大ニ新築シテ新舊ノ費總大費成テ
告グ乃チ新築座チ去テ愛ニ轉ツタルハ明而四年春ノ事
ヲ即今今ノ東京芝罘三田二丁目ニ番地慶應義塾是レナ
リ轉居 後モ入學ノ生徒ハ日多クシテ學務ト俗務ト同
時ニ之ヲ理スルコト甚ダ易カラズ就中諸藩ノ壯年士族ガ暇
時ヨリ歸リ直ニ學ニ就キ其心學擧動ノ淡泊ニシテ活潑ナ
ルハ眞ニ愛スベシト雖ニ當時ノ殺氣尙未ダ去ラズ動モス
レバ粗暴輕躁ニ走リテ學塾ノ敷地ハ小戰場タル可キノ
恐レ少ナカラス學者ノ沈默ヲ以テ暗ニ之ヲ化シテ可ナズ理
論ノ深遠ヲ以テ直ニ之ヲ論ズ可キノ非ザレバ幹事モ
教員モ共ニ與ニ活潑ニシテ雅簡易輕便ノ主義ヲ以テ生
徒ニ交リ漸ク之ニ理ヲ説キ道ヲ示シテ遂ニ以テ學者ノ本
色ニ誘導シタルコトナリ本塾ノ理事常ニ難シト雖モ最モ困
ミタルハ維新以後三四年ノ間ニ在リトス

、割台及ヒ時勢ニ從テ其割合ノ變化シタルコトヲ我國ノ
神學ハ元ト醫學ヨリ入リシ者ニテ嘉永於其亞細亞ノ渡來
前ニ洋書ヲ讀ムル者トテハ唯醫學生ノヨリシモノガ安
政ノ初ヨリ尋常ノ士族ニテモ往々斯道ニ志ヲ立ル者ヲ出
シタルハ時勢ノ一變革ナリト云フ可シ左レハ尙士族ニ
リテ百姓町人ハ之ヲ知ラズ文久三年ヨリ明治四年マデ本
塾入社生ノ全數百三十七名ノ内ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ明治九年ニ入社生百七十七名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ漸ク増加シテ全數百六十二名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同七年ニ平民ハ百五十七名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同九年ニ平民ハ百三十四名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同十年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同十一年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同十二年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同十三年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同十四年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同十五年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同十六年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同十七年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同十八年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同十九年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同二十年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同二十一年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同二十二年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同二十三年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同二十四年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同二十五年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同二十六年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同二十七年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同二十八年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同二十九年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同三十年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同三十一年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同三十二年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同三十三年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同三十四年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同三十五年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同三十六年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同三十七年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同三十八年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同三十九年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同四十年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同四十一年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同四十二年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同四十三年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同四十四年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同四十五年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同四十六年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同四十七年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同四十八年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同四十九年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名
ノミシ同五十年ニ平民ハ百三十九名ニ平民ハ僅ニ四十名

主義ニ素ヨリ取ル所ナシト雖モ今日ノ文學ヲ勤ムルコト
シテ漢字ヲ知ラズシテハ用テ便ズルニ足ラズ依テ漢字ニ
モ漢書ノ一科ヲ設ケテ頻リニ之ヲ講讀ス

本塾ノ入社就學ニ年輪ヲ限ラザルガ故ニ在々二十歳以上
ノ學生ニシテ始メテ洋書ヲ學ハントスル者アリ此種ノ生
徒ハ尋常五年ノ學期ヲ踏ムコト能ハズ只普通成テ求ムルコ
トナレバ之ガコト本塾ノ外ニ一科ヲ設ケ本則ニ拘ハラズシ
テ教授ハ、之ヲ科外生ト名ケ蓋シ我國ノ洋學ハ日尙淺ク
シテ少小ノ時ヨリ教育ノ順序ヲ經ザル者甚ダ少ナカラズ
去迎今日ノ時勢ニ於テ苟モ洋書ヲ知ラズシテハ忽チ人事
ニ差支テ生ズ、丁年以上始メテ就學スルモ事情止ムヲ得
ザルニ出タルモノナレバ今後數年ノ間ハ科外ノ科モ亦要
用ナルコトナラン

明治七年夏ノ頃本塾ノ教員相會シ學術進歩ノ事ヲ論ンテ
諸ラテ西洋諸國ニハスコールニ法アリ（即チ今日ノ演
說ナリ）學塾敷場ノ敷ノヨクニテハ未ダ以テ是レトス可
ラス（スコールニ「アベート」）討論ノ如キ學術中最モ大切
ナル部分ナレバ此法ヲ我國ニ行ハレシメテハ如何トノ相
談ニテ衆會之ニ同意シ何事ニテモ世ノ普通ナランメント
スルコトハ吾ヨリ之ヲ始ルコト若カズ然ラバ此原語ヲ何ト譯
シテ要當ナラン談論、講義、辨說、問答、等類々々文字ヲ案
ノ逸ニ（スコールニ）演說「アベート」ヲ討論ト譯シテ其方
法ノ大概チ一小冊子ニ綴リ社中竊ニ之ヲ演習セタルハ明
治七年五月ヨリ凡ソ半年ノ間ナリ此間コト方法モ稍々整頓
ナルヲ以テ翌明治八年春本塾館内ニ始メ演說館ナルモ
ノ新築セテ演說館演習ノ用ニ供シタルコト但シ其趣意ハ
演說ヲ以テ直ニ聽衆ヲ益スルノ目的ニ非ズ唯此所ニ公衆
ヲ集メ又ハ内ノ生徒ヲ會シテ公然所思演レノ法ニ價レ
以テ他日ノ用ニ供セントスル者ニシテ演說討論ヲ稽古ス
ル場所ナリ開館以來既ニ九年、月次公衆ヲ集メテ學術上
ノ事ヲ演說ス即チ今ノ三田演說館是レシテ此公衆演說ノ
外ニ又或ハ塾中ノ生徒ガ課業ノ傍ニ討論會ヲ催ナス等ノ
事モ多シ

本塾ニ主義ハ和漢ノ古學流ニ反シ仮令ヒ文ヲ談スルモ
世事ヲ語ルニモ西洋ノ實學ヲ根據トスルモノナレバ常ニ
學問ノ虛ニ走ランコト恐レ依テ近日社中ノ年長具科ニ連
レテ者ニ談シテ人身學、動物學、本草學、化學、電氣學等
ノ講義（レクチャー）ニシテ設ルコト決メテリ

身體ノ運動ハ特ニ本塾ノ注意スル所ニシテ課業ノ時間ハ
三時間ヨリ四時間ヲ過ラズサ又數年前ヨリ廊内ニ柔
術ノ道場ヲ設ケテ專ラ體育ヲ勵シ又近日ハ之ニ居合ヲ交
ヘテトシテハ劍術ノ課業ヲ爲シシテ中ニ病者ノ少ナ
キハ塾ノ地位市中高燥ノ部分ニ在ルト運動法ノ然ラシム
モノナラン

二十餘年來學期ハ次第ニ變革シテ今日ニシテ前幾比較ス
レバ殆ト別種ノモノ、如クナレバ與テ考レバ此間ニ大改
革トシテ一回ニモ施行シタルコトナリ唯時勢ニ從テ學問ノ進
歩ニ促カサレテ講義ヲ知ラズノ際ニ徐々トシテ自カラ改
マリタルコトナシ今後モ此法ニ依ランコト社中year長ノ常
ニ注意スル所ナリ

會計之事
本塾終始ノ困難ハ會計ノ事即チ是ナリ本塾一獨ノ資本ナ
ク又他ヨリ補助スル者モナク故テ會計ヲ明ニシテ（明治六七
ノ間）華原大田實業君ヨリ外國醫學教授人ノ實トシテ數
千圓ノ寄附セラレタルハ空爾後ノ事ニシテ今ニ至ルマ
デ社中ノ深ク恩謝スル所ナリ、實ノ難ニ莫平強ノ建築ナ
レバ會計部、各員已生計ヲ盡シ、能ハズ教授ノ如キハ
唯斯道ノ爲ニスルノ熱心ヲ以テ自カラ算スルモノモ
客ヲ利益ノ途ニ...

ケテ生徒ヨリ些少ノ金ヲ擄ハシムルノ慣行ハアレ...

固ヨリ以テ塾舎修繕ノ費用ニモ足ラズ唯時ノ事情...

若クハ出入ノ且細ヨリ扶持米ヲ取償シ、或ハ揮毫...

金ヲ取ルノ法ヲ創造ス可ク且束脩トハ師弟一個人...

入社ノ時ハ必ス金三圓ヲ拂ハシムルコトヲ定メ...

料ノ高チ定ムルコト當テ其標準ト爲ス可キモノナシ...

ノ法ニ從フモノナリ

畢竟其人物本塾ヲ視ルノ故郷ノ如ク自家ノ如ク...

人ノ同心協力其効大ナリト云フト雖亦無誤ノモノ...

加スルコト從ヒ之ヲ門下ノ繁盛ト稱シテ自カニ些少...

可シ恰モ培養ニ存リ日進ナキ大木ノ如ク之ヲ伐ルト...

少ノ金ヲ捐テ、試ニ之ヲ維持シントスルコト決シ...

係ルノ

本塾ノ邸地一方二千坪餘、築ニ屬スル建物凡ソ千二...

生ヲ出シテ漸ク増加シ近年ハ平民ノ方士族...

徒身分ノ區別ハ華族三十七名士族二千九百六十五...

義塾人社生徒國分表

同 元年 一〇〇

同 二年 一〇〇

同 三年 一〇〇

同 四年 一〇〇

○行幸 聖上ハ猶...

○行啓 見台 前...

○井 外務卿 同...

○立田草君 過...

○地方官 各府知...

○梨本宮ノ邸門...

○支那通信 四...

○天津を發シ...